

力を尽くし躍動した、創造した、自分と向き合った夏休み

～部活動で、生徒会で、そして……～



夏季総体陸上競技（リレー競技で力走する選手たちと、拍手で応援する部員たち）

44日間の夏休み、君にとってどんな毎日でしたか。

部活動では夏季総体、吹奏楽コンクール、美術部展等の場で、一人ひとりが力を振り絞って、個々の力やチーム力を発揮する姿がたくさん見られました。

そして、みんなの力を引き出す原動力となったのは、仲間たちの応援です。

4月の新入生部活体験の際、陸上競技部でこんな話がされていました。「陸上は『個人競技』ではありません。」「個人種目」であっても、仲間として励ましあって高めあっていくからこそ、部活動で活動していく意味があるということだと思います。また、チームプレイであっても、試合に出た人だけでなく、これまでともに練習してきた仲間がいたからこそその結果であるということをお忘れてはなりません。

夏季総体では、男子ソフトボール部、水泳（個人）、体操競技（個人）で全国大会に出場、陸上競技（低学年リレーと個人）で近畿大会に出場しました。また、吹奏楽部は県大会で金賞、きらめき賞を受賞し、関西大会に出場しました。高い技術力やこれまでの努力をたたえたいと思います。



夏季総体男子ソフトボール部

県大会やブロック大会で健闘する姿も多く見られました。表彰は受けなくても、自分自身の力を最大限に引き出せたか、やれるだけのことをやりきったか、それもとても大切なことです。



美術部1年生の作品「希望を見つめて」（県中学校美術部展に出展）

「ひまわりには『あなただけを見つめる』という花言葉があります。『あなた』は私にとって『目標』や『未来』です。コロナで苦しんでいる人や、震災にあわれた方に、この作品を見て元気になってもらいたいという思いで描きました。」（作者生徒のメッセージより）

少年補導委員の皆さんと生徒会との交流会(8月7日)

8月7日、生徒会(執行部等)と少年補導委員の皆さんとが、地域のあり方や自分たちと地域とのかかわり等について、意見交流を行いました。

誰もが幸せに生活していくために支えあっているのが地域、そのような地域活動にもっともっと参加をして、まずはお互いを知って、いろいろな世代がかかわりあって、誇りがもてるような守山にしていきたいとの話がありました。

たとえば、地域の夏祭り等で、中学生が自分たちで出店を企画運営するような機会があれば、是非参加してみたいという声も聞かれました。



パラリンピックトルコ代表選手団と生徒会・吹奏楽部との交流(8月18日)



東京パラリンピック開幕前の8月18日に本校生徒会や吹奏楽部員が、トルコ共和国代表選手団29人とオンラインで交流しました。

「ゴールボールはパラリンピック専用のスポーツで、競技中は自由だと感じる。」「視覚障害者柔道は常に頭を使わないと、勝つか負けるかわからない。」等、生徒の質問を受けて選手たちが答えていました。

また、吹奏楽部員たちは、応援の気持ちを込めて、ゆずの「ヒカレ」を演奏しました。

写真上:オンラインでの交流の様子
写真下:トルコ共和国柔道選手
(書道部作成の横断幕とともに)

保護者の皆様へ

保護者の皆様には、夏季休業期間中もさまざまな場や機会をとらえ、子どもたちと関わり、また温かく見守っていただきましたこと、感謝申し上げます。

さて、いよいよ2学期が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大という状況をふまえて、できる限りの感染症防止対策を進めるとともに、工夫を凝らして子どもたちの教育活動を創出するよう取り組んでいきたいと考えています。とりわけ、学校行事等の実施に関しましては、新型コロナウイルス感染症にかかる状況に注視し、教育委員会の意見も聞いて適切な判断に努めていきますので、急な変更等生じる可能性もありますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。